

氏名	水 田 潤
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2674 号
学位授与の日付	平成 5 年 12 月 31 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	非ホジキンリンパ腫における CHOPB-POEMB 交替療法に関する 研究 —中・高悪性度の組織型についての検討—
論文審査委員	教授 太田 善介 教授 赤木 忠厚 教授 辻 孝夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

1986年3月より1991年2月までに中・高悪性度の非ホジキンリンパ腫（NHL）45例を対象として、我々は mitoxantrone と etoposide を含む POEMB 療法と CHOPB 療法とを交互に行う CHOPB-POEMB 交替療法を立案し、その意義を検討した。評価可能44例のCR率は80%，全奏効率は95%であった。観察期間中央値48ヶ月において、CR例の57%が無再発で生存中である。治癒可能とされている large cell lymphoma (diffuse large 及び large cell, immunoblastic) における CR 率は73%，全症例の47%が無再発で生存中である。予後因子は LDH 高値例，B 症状を有する症例，長径10cm以上の腫瘤を有する症例に予後不良の傾向が認められた。致死的な副作用は経験されなかった。

本交替療法は長期観察において large cell lymphoma を中心とした中・高悪性度 NHL 45%に治癒の可能性が示されており，その意義を示す成績と考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は1986年3月より1991年2月までに中・高悪性度の非ホジキンリンパ腫（NHL）45例を対象として，mitoxantrone と etoposide を含む POEMS 療法と CHOPB 療法とを交互に行う CHOPB-POEMB 交替療法を検討したものである。その結果本交替療法は長期観察において large cell lymphoma を中心とした中・高悪性度 NHL 45%に治癒の可能性を示した。これは臨床的に有用な業績であり，よって本研究者は博士（医学）の学位を

得る資格があると認める。